



The Y's MEN's CLUB of

もりおか



<VOL103.2016.7>

もりおかクラブ事務所：〒020-0804 盛岡市本町通3丁目1-1 Tel 019-623-1575 盛岡YMCA内
盛岡YMCA HP <http://www.yמצaJapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

「主題」

国際会長 Joan Wilson
アジア地域会長 Tung Ming Hsiao
東日本区理事 利根川 恵子
北東部長 長岡 正彦
もりおかクラブ会長 井上 修三

「私たちの未来は、今日より始まる」
「ワイズ運動を尊重しよう」
「明日に向かって、今日動こう」
「明日のために、いま土台を築こう」
「2017チャリティラン in 盛岡を成功させよう」

今月の聖句 マタイによる福音書4章10節

「あなたの神である主を拝み、ただ主に仕えよ。」

会長 井上 修三
副会長 三上 隆生
書記 濱塚 有史
会計 大関 靖二
担当主事 小川 嘉文
メネット 井上 優子

平成28年8月例会のご案内
日時 平成28年8月5日(第1金曜日) 18時30分
場所 くらじよか 会費4,000円
卓話 納涼例会。
第二例会 平成28年8月19日(第3金曜日) 18時30分
場所 そばDe10割

井上会長巻頭挨拶



2016~2017会長を務めさせていただきました。クラブ内では最年長者となりました。年々こどもにかえっているようで、(もつとも、もともと成長していないという見方もありますが…)まわりは心配顔ですが、なーに一度しかない人生、思うように行っただけ。

声だけは誰にも引けをとらないと自負しています。この声が小さくなった時は、

井上会長 要注意。主題はやはり?と思われそうですが、これしか考えられません。盛岡YMCAのスタッフとともに実現にむけ、準備の一年にしていくつもりです。それこそ若いときと違い数種の物事を一度にこなすことができなくなっています。(ここに老化が顔を出し)盛岡YMCAは濱塚総主事のもと粉骨砕身の努力で市民権を得ました。リーダー出身のスタッフをはじめ良き仲間恵まれ地域に貢献をしている様子をつぶさに見てきましたが ワイズメンも知恵を絞り苦勞をしてみましよう。メンバーの皆さん覚悟はいいですか?希望を持って諦めることなく踏まれても、踏まれても伸

びてゆきましょう。しかし駄文のきわみ。一年間書き続けたら少しはよくなるのでしょうか?楽しみです。

目前に北東部会(9月17日(土))が迫っています。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

7月第一例会のご報告

平成28年7月9日(土)きのえね本店。出席者:井上、大関、小川、中原、濱塚、古澤、三田、山口、井上メネット。

卓話者:重石 桂司 様(盛岡YMCA上議員)、ビジター:中川典幸さん(仙台)横倉さん(仙台)吉田さん(仙台) ゲスト:武田 悠さん(ゴリナ)

東日本区役員と日程が重なり、長岡部長は欠席となりましたが、引継ぎのため仙台からご足勞をいただいた3役の皆様より大関



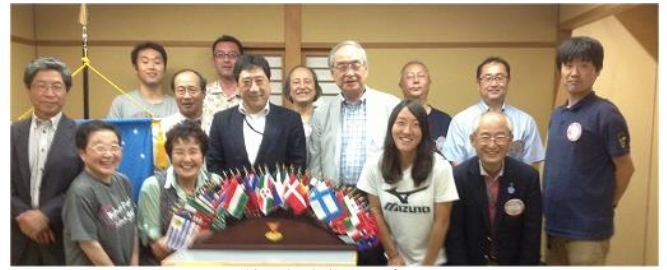
北東部の引継ぎ



もりおかクラブ会長引継ぎ

井上が代理で引継ぎを受けました。

例会にも快く参加していただき、仙台クラブよりのお土産の仙台蒲鉾、石巻広域クラブの看板日本酒「日高見」、芦屋クラブからいただいた濃厚なチョコレート、オレンジケーキを味わいました。また大関会長から井上新会長への引継ぎも行われバトンは引き継がれました。大関直前会長、たいへんご苦労様でした。労うためにも出席したかったです。ありがとうございました。



キックオフ第一例会集合写真

2016～2017第1回例会卓話

「岩手は日本のヨーロッパ」



重石 桂司様

卓話者：重石 桂司様（盛岡YMCA常議員）
長く「食」にかかわってきましたが、岩手の農林水産物はブランド評価を得るに値するものは多くあると思うのですが、実際ブランド評価を得ているものは少なく、他者に多くを譲っているのが現状です。

地形からいっても奥羽山系、北上山系その中を北上川が貫流、寒流と暖流のぶつかる潮目を形成、四季のはっきりとした自然を有している風土は「日本のヨーロッパ」と称される所以です。このような恵まれた中で生み出される農水産物はすぐれたものも多いのですが、残念ながらそのよさは日本のなかでは、知られていないのが現状です。

「産者が将来への不安を払拭し希望を持って経営に取り組むためには、県民自身が岩手の優れた風土と産物の評価や産物同士のコラボレーションによる魅力を再確認するとともに、大都市の消費者の目線も大事にしてブランドを構築強化し、従来の競合関係から脱し、岩手の生産者や食品関連事業者と感性の鋭い、本物志向や先進的な消費者、飲食提供者や流通業者な

地形からいっても奥羽山系、北上山系その中を北上川が貫流、寒流と暖流のぶつかる潮目を形成、四季のはっきりとした自然を有している風土は「日本のヨーロッパ」と称される所以です。このような恵まれた中で生み出される農水産物はすぐれたものも多いのですが、残念ながらそのよさは日本のなかでは、知られていないのが現状です。

どの結びつきを強化し、新たな情報発信と発信力の高いオピニオンリーダーを育て、これらを基にした生産から消費者へのダイレクトな商流の構築など市場の変化への対応と創造が求められています。」岩手県産品のブランド化と新規市場創出事業実施要領(案)より)

以上の課題を解決するために東京、岩手において、100人のフードアナリスト(岩手県には1人もおりません。)による、県内生産地訪問調査および地域郷土料理の試食を行い、製品の良さと作り手との意見交換を行い消費者の生の声を生産者に伝え、今後の展開について意見交換を行う。また、講演会を開催する。以上のような壮大な事業が計画されております。

盛岡市では10月21日(金)マリオス、市内ホテルを会場に講演会、フォーラム、試作・交流会が計画されており、28年10月1日から29年3月31日まで、フードアナリスト協会、流通業者、生産者などによる調査委員会によりシステムの作成予定が組まれています。皆さんもどうぞ参加をしてくださるようお願い申し上げます。

フードアナリストという食の専門家資格(1級～4級)をはじめて耳にしました。地産地消にこだわり続ける重石様の心意気にエールを送り、計画の成功をお祈りします。

2016～2017年度、第一回役員会の報告

北東部長 もりおかクラブ 長岡正彦

2016年7月9日(土)、日本YMCA同盟。今年度第一回目の東日本区役員会に北東部長として参加してきました。

利根川恵子理事の主題は「明日に向かって、今日働こう」です。スローガンは「手を取り合って、今、行動」です。ワイズメンズクラブの未来をより良いものにするためには、とても良い主題とスローガンです。私も北東部長として理事をお支えする事を心に誓ってまいりました。重点目標としての、会員増強とYMCAとの共同の強化、この二つはまさに命題として再認識いたしました。

私、長岡の主題は「明日のために、今土台を築こう」です。活発な北東部の活動を行い、来年の引継ぎの際には豊かな財政と活発な活動をお手本として次期にお渡ししたいと考えております。特に、今年は福島への支援に力を注ぎたいと考えております。

原発事故より5年が経過し、6年目に入っております。岩手、宮城は復興が進み、自力で歩み始めております。しかし福島はどうでしょう、いまだに避難指示命令が解除されず、人が生活できない地区が多くあります。たとえ避難指示が解除され、帰宅をゆるされたとしても、そこには経済活動がありません。お店もなければ、職場もないのです。そんな福島ですが、残っている方々は懸命に頑張っています。「まけてたまるか」の気持ちでしょう。

北東部は、今年福島を応援していきます。東日本区の皆様どうぞよろしく願いいたします。

今年は日本区が東西に分離して20年の節目です。第2回東西日本区交流会があります。2017年2月4日、東山荘で開催されます。どうぞおいでください。

今年度の当初に東日本区定款見直しの最終仕上げとして2期目の承認決議が予定されています。この手続きにより見直し定款が発行されます。ワーキングチームの方々の努力に敬意を払い、より良い東日本区になることを期待いたします。

使用済み切手、プルタブに関しては引き続き収集のご協力をお願いいたします。昨年の収集方法の変更で、不合理が議論されましたが、「無」から資金を稼ぎ出すというワイズの心とも言うべき理念に照らして頑張っていきましょう。具体的な収集方法は追ってご案内いたしますので、それまで頑張っておいてください。



第一回役員会集合写真、みなさん頑張ろう！

「ズリテン盛岡DAON」

もりおかクラブの状況報告

7月の出席率	912	81 %	ゲスト2名	ビジター3名			
メーキャップ	1	名		7月切手	15 g	累計	390 g
7月のにこにこ	11,000	円	累計 11,000 円	7月プルタブ	0 g	累計	0 g
7月 石鹸	0	円	累計 0 円	りんご	0 円	累計	0 円
7月震災募金	0	円	累計 0 円	ファンド合計	0 円		

会費の納入をお願いいたします。岩手銀行 松園支店(店番号 082)普通口座 2145674

もりおかワイズメンズクラブ 会計 大関 靖二

7月のハッピーバースディ 7/18 井上 優子メネット 誕生日おめでとございます。

2016～2017年度北東部第一回北東部評議会開催

7月16日、盛岡岩山公園展望レストランで開催しました。曇りの空で、市内は一望できましたが、あいにく岩手山や姫神山などは姿を現してはくれませんでした。

7月9日に前期の北東部より業務の引継ぎを受け、ドタバタの準備をしてきました。開いてみれば資料の不備が多数あり、お集まりの皆様にご迷惑をおかけしました、ここでお詫びをするとともに次回からはこのような事がないようしっかり準備いたしますのでお許してください。

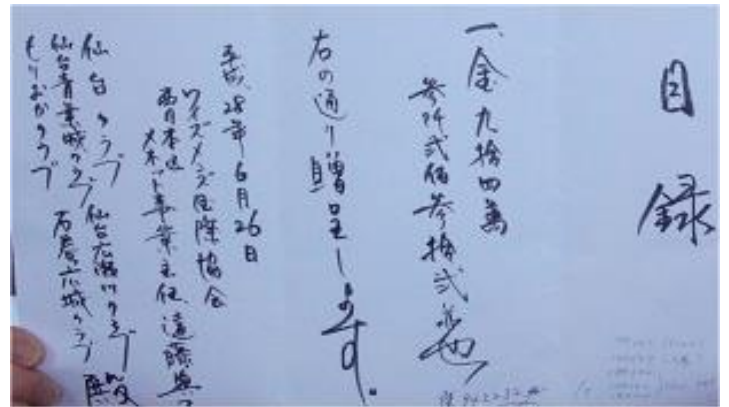
北東部の活性化と経費節減に伴う案として北東部を二つのエリアに分けて活動してはどうかという提案が、宇都宮クラブの大久保さんから提案されました。これは前年度第3回評議会で口頭により提案されましたものを文書で正式に提案されたものです。北東部は南北に400Kmを超える日本一の広さを有しております。どこで評議会を開催するにしても移動が大変なこともあります。経費も掛かります、高齢化がすすむ会員の体への影響もあります。こんな状態の中で、広さを逆手にとってより活発な部活動を行おうという前向きな提案がなされました。

みちのくエリアが東北の6クラブ、北関東エリアが5クラブ、この二つのエリアから毎年相互に部長を選出し、全体評議会を2回、エリア評議会を3回、部長連絡会を1回行うというものです。この提案は今年度充分検討して、実施できるとすれば来年度から行うという事になるでしょうか。出席の皆様のご意見として、東日本区部の再編成にも影響があるのではないかと、この意見がありました。我々はそのまでは意識しなくてもいいと思います。発想の原点は、北東部活動の活性化です。これを忘れなければ部の再編までは考える必要はないと思います。

CS行事について、昨年までは被災地交流サッカーとリーダーズアクトと一緒に仙台で行っていました。被災地交流サッカーは



評議会ご苦労様でした、親睦を深めましょう、乾杯～



西日本区メネット委員会よりいただきました。心より感謝いたします。

必ず今年度も実施します。冠の「被災地」という文字がいつまで使うかという問題はあると思いますが、この行事をやめては我々の誇りや、ワイズの存在意義が問われると思います。リーダーズアクトに関して、これも宇都宮クラブの大久保さんから提案があり、栃木YMCA主催のエンジョイドッジボール大会に合わせてリーダーズアクトを開催したいとの提案がなされました。福島支援の要素も兼ね備えた、とてもいい提案です。大きな行事を二つ行うことになりそうですが、これも北東部の活性化に繋がることなのだと思います。予算をしっかりと立て、成功させたいものです。

北東部のバナー作成について、昨年度からの継続案件です。図案は3作品出しましたが、いまだに議論が不活発です。これは誰かがリーダーシップを発揮して一気に仕上げなければ時間ばかりが経過しそうです。そのうち無くてもいいのでは、という意見も出そうですので今年度ぜひ作成して東日本区大会でお披露目したいものです。



曇り空が残念、岩山レストラン展望台にて

相馬野馬追に行ってきました。

南相馬市で開催された、相馬野馬追にもりおかクラブとYMCAボランティアリーダーがお祭り見物にいらっしゃいました。現地でお世話してくれたのが岡田虎治(たけはる)さんと、南相馬市商工会議所でした。商工会議所にて、放射能被害やその対応と現在の状況などの説明を聞き、放射能と闘っている現状を再認識しました。その後、お祭りを見に出発です。震災の翌年から野馬追祭りは復活しました。このお祭りをしなければ、南相馬ではないとの心意気で、どんなに打ちのめされても、我々はここで頑張るとの強い意思表示なのだという事です。



相馬の馬、盛岡の馬、足の太さがちがう「やぐ馬っこ」の馬を想像しておりましたが、盛岡の馬は約1000Kg、農耕や、林業に従事する馬とはまったく違いました。

まずは、甲冑競馬です。背中に所属を表す昇り旗を立てた武

広い競馬場が見えてきました。います、馬です。甲冑姿の武者が乗っています。「おお、かっこいい」、馬は競走馬、サラブレッドやアラブのようです。足が細くてまさに走る馬です。馬体重は350Kgくらいだとか。私たちは「ちやぐち

やぐ馬っこ」の馬を想像し

者が、全力でオーバルコースを駆け抜けます。旗がなびく音、馬が大地を蹴り上げる音、場内のアナウンスにあいまって、ものすごい迫力です。真剣に競争する大迫力のレースが展開されました。「おおお、すげ〜、転ばないようにがんばれ〜」、思わず叫んでおりました。



フィールドに待機した騎馬達

次に、御神旗争奪戦です。コース内部の芝生広場に数百騎の騎馬武者が陣取り、天中高く打上げられた花火を合

図に、同じく打ち上げられた御神旗を勝取ろうと舞い落ちる御神旗に群がります。これがまた大迫力です。運動会の騎馬戦も盛り上がりませんが、こちらは、本物の騎馬戦です。刀や槍がないだけで、本当の騎馬の戦いが繰り広げられました。御神旗を勝取った騎馬武者は大変な名誉を授かるのだそうです。お祭りの行事とはいえ、真剣に取り組んでいるからこそ、観客にも迫力や、感動が伝わってくるのでしょう。いや〜、ほんとうに感激しました。最中、1騎の馬から落馬した武者が救急車で搬送されるハプニングがありました、場内アナウンスで、「救急車が必要か？」などと問いかけるのを見ると、このお祭りでは落馬の怪我は付き物のようです。出場者も運営側も承知の上で行っているのでしょう。まさに命がけです。街中のアスファルトの道路を馬が、「かぼかぼ」と歩いているのを不思議な気持ちで眺めながら帰途に就きました。

岩手銀行赤レンガ館、一般公開開始！

岩手銀行赤レンガ館は、1911(明治44)年に盛岡銀行の本店行舎として落成し、1936(昭和11)年に岩手殖産銀行(のち



岩手銀行赤レンガ館

に行名を岩手銀行に変更)の本店として引き継がれ、1983(昭和58)年に岩手銀行新社屋完成に伴い中ノ橋支店となりました。設計は東京駅でも知られる、辰野・葛西建築設計事務所によるもので、辰野金吾が設計した建築としては東北地方

に唯一残る作品です。2012(平成24)年8月3日に銀行としての営業を終了し、約3年半に及ぶ保存修理工事を経て、2016(平成28)年7月17日に一般公開されました。

行ってきました、赤レンガ館。今回はATMからの引き落としで行ったのが10年くらい前だった記憶です現在銀行業務は別の建物(写真の右奥)で行っております。

入ってすぐに、気の良さそうなおじさんが迎えてくれて案内してくれました。有料エリアの入場券を購入して中へ。銀行業務で使

用していたカウンターの奥は多目的ホールといいます。ここでコンサートや講演ができます。昔のお客さまエリアを奥へ、階段を上って2階へ、階段はギシギシと軋みます。完全に改修せず、軋みはあえて残したそうです。これがまたいい感じ。2階は応接間や、シアターで建物の案内、金融の歴史の展示などがあります。今回楽しみにしていたのが、建物の上にあるドームの中を見たかったのです。しかし、多目的ホールの上部縁にあるバルコニーを歩いたところ、下のおじさんに注意を受けました、「そこは立ち入り禁止です。」そうですか、ドームには入れないのですか？公開は2階までで、3階上部のドームは見られません。残念。

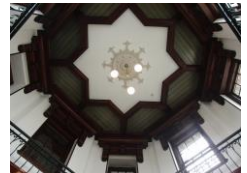
盛岡らしさが漂う、岩手銀行赤レンガ館。これはぜひ行ってみてください。いにしへの盛岡にタイムスリップです。



軋む階段



お客さまエリアとカウンター



ドーム下の天井と照明

編集後記

充実の7月を過ごしました。キックオフとして、こんなに盛りだくさんのワイズ活動を行ったのは過去にないのでは？ 役員会と第一例会が重なり、例会はお休みでした。こんなときにメンバー候補の重石さんの卓話があるなんて。聞きたかったです。評議会に相馬野馬追、赤レンガ館の訪問。楽しかった7月でした。

現在7月29日、午前4時40分。ブリテンの編集が終わろうとしています。明日30日は東日本区定款改訂委員会出席で東京に行きます。ブリテンは本日完成しないと7月に間に合いません。今週はスパートをかけました。東北地方はまだ梅雨が明けません、不順な天候ながらもじわじわと夏が迫ってきます。1日からはさんさ踊りが始まります、お出かけください。